

2024年3月30日(土)報告会
看護実践能力評価基準検討委員会 活動報告

活動2

2023年度JANPU-CBT実証事業報告

看護実践能力評価基準検討委員会

佐藤聖一、西村礼子、福田友秀、野島敬祐、荒木暁子

これまでの経緯

2021年度

新たな感染症の時代の看護学教育検討特別ワーキング(2021年度答申書より)

- 政策班、DX班、CBTサブWGにより活動
- 看護学臨地実習に関する現状における課題の整理・それを踏まえた新たな臨地実習枠組み案の作成
- 看護学教育におけるデジタル化への課題の整理・DX時代の看護学教育枠組み案の作成

⇒CBT導入の検討のために、文献検討、CBT実施による教育効果およびCBT実施による方法論の教育効果を検討し、22年度CBT実証事業(試行案)を提示

2022年度

- 2022年度JANPU-CBT実証事業(試行版)の実施
- 文部科学省 CBT システム(MEXCBT)の拡充・活用推進事業の一環としてシステムの運用可能性の検討
- 13校、660名を対象に実施

2023年度

活動目的

- より多くの会員校にCBT実施に向けた運営上の環境整備や組織体制構築CBTの実施・運営について評価を得ていただく
- 看護学教育におけるCBT導入推進・参加型臨地実習の実現に向けたCBT導入およびMEXCBTシステム上の課題抽出および文部科学省への要望の示唆を得る

活動内容

1. JANPU-CBT実証事業

対 象 JANPU会員校の各領域臨地実習前の学生
実 証 日 第1回目 2023年9月26日(火)
第2回目 2024年3月19日(火)

2. 2024年度JANPU-CBT意向調査

対 象 JANPU会員校 299校
調査期間 2024年1月9日(火)～1月29日(月)
収集方法 グーグルフォームを用いたWeb調査

JANPU-CBT実証 概要

- 1～4時限の問題と5時限のアンケート(計5時限)で構成
- 1時限目から4時限目まで順番に合計で230設問を出題

各時限の出題形式と解答時間

1時限:看護専門1【公衆衛生学・基礎看護学・看護教育学・看護管理学・生命倫理学】

60 設問・解答時間45分

2時限:看護専門2【地域看護学・在宅看護学・老年看護学・精神看護学】

60 設問・解答時間45分

3時限:看護専門3【成人看護学・小児看護学・母性看護学】

60 設問・解答時間45分

4時限:基礎医学【生理学・生化学・解剖学・病理学・微生物学・薬理学】

50 設問・解答時間40分

5時限:アンケート

実証校募集～事前確認までの流れ

実証校 決定

- CBT責任者であるJANPUより実証校決定のお知らせ

アカウン ト発行

- 各実証校は【実証校人数報告および遵守事項への同意】に受験人数を記載・提出
- CBT責任者が各実証校に必要な「実証用学習eポータル」のアカウント数を発行
- CBT各実証校責任者は学生にアカウント、JANPU会員コードと学生IDを周知

実施要 項配布

- CBT責任者が電子媒体にて本実施要項を配布
- 各実証校はCBT各実証校責任者・監督者などを配置
- 説明者を含め試験実施に関わる全ての教職員が、「2023年度JANPU-CBTの守秘等に関する説明ならびに同意書」を各実証校に提出

動作 確認

- CBT責任者が電子媒体にて学生用簡易マニュアルを配布
- 試験会場・当日使用するICT機器・当日のネットワーク環境にて学生が「実証用学習eポータル」にサインインし、「学生用簡易マニュアル」に基づき動作確認

実証校決定後の運用

教員役割/学生	実証校 決定	0週目	1週目	2週目	3週目	4週目	5週目	JANPU-CBT 実施日
CBT実証校責任者	学内 対応 開始	学内周知		教員「実証校 としての遵守 事項の同意」 説明・回収	教員説明①	【学生説明】 ▼ MEXCBT 【動作確認】 ▼ 動作確認実施 ▼ 「事前動作確 認報告書」提 出	教員説明②	JANPU-CBT 当日 総括
		CBT実証校 監督者 決定 CBT実施協力 依頼・決定						
CBT実証校監督者		実施 計画 策定	実施要項 印刷・配布	学生用 マニュアル 印刷	サンプル問題 で 動作確認		MEXCBT サンプル 問題で 動作確認	JANPU-CBT 試験監督等
協力教員			受験票 作成・印刷					学生・教員 同意書作成
学生				実施日・説明 会日程周知		学生説明会 MEXCBT サンプル問題 で操作確認		JANPU-CBT 受験
ICT媒体・ネット 環境 システム			PC室など CBT実施 環境確保	スリープ・自 動翻訳機能の 停止	MEXCBT動 作・サンプル 問題確認	MEXCBT動 作・サンプル 問題確認	スリープ・ 自動翻訳機 能の停止	PC室など CBT実施環 境確保

実証当日の流れ(例)

時間	実証事業スケジュール
9:00	実証校担当者集合・会場準備・当日打合せ
9:30	受験者会場入室
10:00	受験者への説明・諸注意・分散してMEXCBTへサインイン
10:20	1限目開始
11:35	2限目開始
12:25	昼休憩
13:30	3限目開始
14:45	4限目開始
15:30	5限目(アンケート)開始
15:40	終了

2023年度JANPU-CBT実証事業の参加状況

1. 参加校・参加人数

9月26日(火) 1校 63名

3月19日(火) 12校 735名

*当日朝、鉄道事故のため別室受験可能な実証校については、1時間延長

2. 参加校の状況

設置主体 : 国立・公立・私立

所属ブロック: 北海道・東北ブロック、関東ブロック、中部ブロック
関西・近畿ブロック、中国・四国ブロック

3. 参加者の学年

・2学年 9校

・3学年 4校

2023 実証結果概要

実施した使用機材	大学に設置されているデスクトップPC 大学のノートPC 個人のノートPC 個人のタブレット
ネットワークトラブル	27件(タブレット使用環境が22件)
JANPU-CBTの実施目的	領域実習に必要な知識の確認 領域実習・国家試験への動機づけ CBTへの慣れ(学生) CBT導入時の運用準備(大学・教員)など
実施目的の達成度 *とても達成できた～ 全く達成できなかったの5段階と、 まだわからないの選択肢	どちらでもない(3) ある程度達成できた(6) とても達成できた(3) まだわからない(1)

2023 実証結果概要

動員した監督者の人数	2～14人	教室分散に伴う配置のため
動員した事務職員の数 (教員以外の者)	1～4人	
動員した監督者・事務職員 以外の人数	0～4人	トラブル対応のため配置
使用した教室数	1～4部屋	遅刻者/トラブル対応用
実施にかかった費用	0円	学内の紙代、印刷などは生じた
準備に要した時間	1時間～72時間	要項の読み込み、マニュアル準備、 書類準備、教員間の調整、学生周知、動 作確認、会場設営など

2023 実証結果概要(終了後アンケート:学生 n=735)

アンケート内容	とてもそう思う・そう思うの回答
CBTの実施は臨地実習に出る前に必要だと思いましたが	77.0%
CBTの実施時期は自身の臨地実習前の知識を測定するのに適切な時期でしたか	69.7%
採点結果は自身の知識量を反映していると思う	90.1%
採点結果は実習前に補完すべき知識が何であるか理解を促すものであった	76.5%

採点結果によって臨地実習に対する気持ちはどのように変化しましたか

否定的

肯定的

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
0.8%	1.0%	4.3%	4.4%	24.2%	21.5%	21.8%	12.7%	3.4%	6.0%

JANPU-CBT意向調査結果(2024年1月実施)

- 方法 JANPU事務局より会員校へメール送付、
Google Formsにより回答
- 会員校299校、うち回答数244(回収率81.9%)
- 結果
 - 2024年度JANPU-CBT参加を検討している会員校:34校
 - 参加を検討している会員校が実証に参加しやすい時期
 - 8月~9月、2月下旬~3月上旬

今後の課題

- 情報発信
 - 会員校が参加しやすいCBT実施・運営方法の構築や、サポート体制の整備・拡充
- 実証参加校の拡大
 - JANPU-CBT実証事業の目的、実施に必要な準備、当日の動きなど具体的な情報の提供、実施要項など公開情報の周知
- JANPU-CBTへの期待とその対応
 - 次年度JANPU-CBTに参加を検討している会員校や、今後検討する会員校、検討するための情報を求めている会員校があり
JANPU-CBTに対する期待があり今後も事業継続の必要性がある
 - CBT評価基準に基づいた問題作成、問題の質保証、問題プール方法の検討